

# 平和への道を問う・共に生きる

鄭 暁文（筑波大学大学院／社会科教育）

## パラダイス・ナウ

（原題：PARADISE NOW）

- ◆ 種別：DVD ビデオ（映画）
- ◆ 監督：ハニ・アブ・アサド
- ◆ 製作年：2005 年
- ◆ 製作国：フランス／ドイツ／オランダ  
／パレスチナ
- ◆ 発売元／販売元：アップリンク
- ◆ 時間：本編 90 分
- ◆ 音声：アラビア語（日本語吹替）
- ◆ 字幕：なし



© 2005 Augustus. Film, Lama Films, Razor Films, Lumen Films, ARTE France cinema

### あらすじ

イスラエル占領地のヨルダン川西岸地区の町ナブルス。幼なじみのサイドとハーレドは、時折ロケット弾が飛んでくるこの町で、占領下に生まれ、占領下を生きてきた。先の見えない絶望的な日々を過ごしていたある日、二人は自爆攻撃の実行者に選ばれる。沐浴をし、毛を剃り、体に爆弾を巻きつけ、スーツを着込む。そしてイスラエル側に潜入するものの、予期せぬ事態で二人は離ればなれになってしまう…。

パレスチナ人監督が、イスラエル人プロデューサーと共に作り上げた作品。自爆攻撃に向うパレスチナの青年たちの葛藤を描いた、センセーショナルな映画である。

### シーン再現

<自爆・殉教の前夜、主人公サイドと友人スーハの対話>

スーハ：教えて、なぜこんなこと（をするの）。

サイド：分かるだろう。平等に生きられなくても、平等には死ねる。

スーハ：平等のために、死んだり人を殺したりすることができるなら、そんなことをやめて、平等に生きるための努力をするべきじゃないの。

Chapter
1. 殉教写真を撮る／1'35
2. 二人の主人公が、自爆者として選ばれた／1'12
3. 決行前夜／6'12
4. 最後の晩餐／1'20
5. 夜の訪問・平和への道とは／4'17
6. 殉教の準備／8'27
7. 選択肢はないか／3'01
8. 作戦延期／12'41
9. どうする。自爆を続けるか、生き残るか／21'18
10. 自爆の寸前、意見が対立／4'32



イスラエルからの攻撃と空襲、暗殺事件、難民、貧困、住む土地を奪われる…これらはパレスチナ人が、日々の生活の中で、ほぼ毎日直面していることである。恐怖と未来への不安を抱えながら、絶望の中を生きるパレスチナの人々の日常。新聞のニュースからは知りえないその現実を、この作品は伝えている。

掛け替えのない平和を大切に

当たり前の平和は、パレスチナ人にとって手の届かないものだ。強い軍事力を持つイスラエルの前で、パレスチナは無力な存在であるが、唯一の武器は体である。「目には目を、歯には歯を」。自爆攻撃という手段で、イスラエルへの復讐が繰り返されている。それを実行するのは、例えば、密告者の息子であることに悩み苦しむ主人公サイドのような、未来も希望もない若者である。

この作品では、自爆攻撃という宿命を受け入れるようサイドとハーレドに説得する組織の人物は、生き延びるためには自爆で打ち返すことしかできないと主張する。パレスチナ人＝被害者？ いや、加害者にもなる。自爆攻撃を実行すれば、罪なきイスラエルの市民を殺害することにもなるのだ。殉教者の父を持つ友人のスーハは、ヨーロッパ育ちで、サイドとは異なる考えを持つ。そして、平和を実現するためには、武力ではなく、別の解決方法が必ずあるとサイドに訴える。抑止力としての中立的な武力は、局地的な紛争処理には有効な手段であっても、平和な社会を築くためには別の方法が必要だ。政府間の対話や協力はもちろん、他の民族の尊重、相手を承認すること、互いの相違を受容することが重要である。

日本で生活していると、世界の各地で現在も続いている紛争や戦争は、ニュースや新聞の一コマ、一情報に過ぎない。そこに生きる人々の日常、悲しみ、恐怖、それらを知りうる手段は、それほど多くはない。学校教育では、平和教育の取り組みが行われている。平和の大切さを実感・理解するためには、自らの日常を相対的に見つめ直す機会が非常に重要である。そして、他者の立場で考えること、異文化・他民族を理解・尊重することもまた、平和教育には欠かせない。このような取り組みによって、共存・共生の価値観を育成し、平和な世界を形成することができるであろう。

### Information

- ・ この作品は、2006 年ゴールデングローブ賞・2005 年米国映画批評家協会賞最優秀外国語作品賞・2006 年アカデミー賞外国語映画部門ノミネートを含めた 11 個の賞を受賞した。
- ・ 公式ホームページ： <http://www.uplink.co.jp/paradisenow/>（最終アクセス：2012/11/12）